

# ISS・きぼう ウィークリーニュース

平成15年6月24日発行 第57号 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

## “今週の国際宇宙ステーション（ISS）”

☆最初のISS構成要素打上げから1677日経過しました

☆第7次長期滞在クルーのISS滞在は57日経過しました

### ☆ISS動向

ルー宇宙飛行士は、微小重力研究グローブボックス（MSG）を使用して、コロイド溶液中の常磁性体の集合体の構造研究（InSpace）を継続しています。

マレンチェンコ宇宙飛行士は、植物生育用温室でロシアのプラント実験のステータス・チェックを定常作業として行っています。

また、科学実験の他に、プログレス補給船から飲料水の移送を行ったり、兵庫県尼崎市的小学校とのアマチュア無線交信や、米国メディアとの広報イベントを行うなど、忙しい日々を送っています。



ステータス・チェックを行う  
マレンチェンコ宇宙飛行士

### ☆ISS、太陽面の通過写真

海外のアマチュア天文家が太陽面を通過するISSの撮影に成功しました。

これは、観測地とISSと太陽が一直線に並ぶ条件が必要で、しかもISSが太陽面を通過するのはわずか1秒弱ですから、大変高度な技術と根気が必要です。

（参考情報：ISSの太陽/月面通過予報メールサービス

<http://iss-transit.sourceforge.net/TransitAlert.html>）

日中のISS観測は容易ではありませんが、朝方や夕方には他の人工衛星と同様に手軽にISSを見るることができます。観測地ごとのISS予報情報をホームページで公開しておりますので、皆様もぜひISSの観測、写真撮影にチャレンジしてみてはいかがでしょうか？

『ISSを肉眼で見よう』はこちら。<http://kibo.tksc.nasda.go.jp/>



太陽面を通過するISS  
© www.wonderplanets.de

## “今週の「きぼう’”

### ☆「きぼう」船内実験室及び第2結合部到着記念式典開催

米国時間6月18日（水）、ケネディ宇宙センター（KSC）において「きぼう」の船内実験室とイタリア宇宙機関（ASI）が開発した第2結合部（ノード2）というISSの重要な構成要素が到着したことを祝って記念式典が開催されました。

各国のSS（Space Station）プログラムマネージャが集まり日本からは、白木SSプログラムマネージャーが出席しました。



記念式典（6月18日）



挨拶を行う白木SSプログラムマネージャ（6月18日）

### “トピック”

#### ☆ベテラン宇宙飛行士、海底研究室での訓練へ

第5次長期滞在クルーとしてISSで185日間過ごしたペギー・ウィットソン宇宙飛行士は、米国時間6月16日～29日までの2週間の予定で、“アクエリヤス”と呼ばれる海底研究室で生活し、生理学及び心理学の研究活動を行っています。アクエリヤスは、フロリダの海底約20mに設置されており、その大きさは直径約4m、長さ約14mでISSの居住エリアであるズヴェズダと同じ程度です。

この活動はNASA極限環境ミッションオペレーション（NASA Extreme Environment Mission Operations :NEEMO）ミッションと呼ばれ、遠隔地の研究者との意思疎通方法や通信システムの開発、チーム作りやリーダーシップ技術などを学びます。

NEEMOはNASAと米国海洋大気庁（NOAA）及びノースカロライナ大学ウィルミントン校の共同事業で、2001年10月に第1回目が行われ今回は5回目となります。



NEEMO 5のスタッフ



海底研究室アクエリヤス

NEEMOの詳細については、下記をご覧下さい。

<http://spaceflight.nasa.gov/shuttle/support/training/neemo/index.html>

2003年10月1日から宇宙開発事業団は独立行政法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）に移行します。



問い合わせ先：宇宙開発事業団 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター TEL: 029-868-3074

ISS・きぼうホームページ <http://jem.tksc.nasda.go.jp/> Eメール kibokoho@nasda.go.jp

※「ISS・きぼう ウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。